

Eastspring Asia Now

Vol.33

ASEANで連携される都市開発

eastspring
investments

「ASEANスマートシティネットワーク」構想

ASEAN（東南アジア諸国連合）域内の10カ国26都市が参加

- ▶ 2018年4月に開催された第32回ASEAN首脳会議において、「ASEANスマートシティネットワーク（ASCN）」の草案が発表されました。交通渋滞や公害、インフラ整備等の都市が抱える課題を、域内の都市間で協力して先端技術やIT技術を活用しながら解決することを目指しています。スマートシティとは、再生可能エネルギーの活用やIT技術の導入で低炭素社会を実現し、住民の生活の質や利便性の向上と環境への配慮の両立を目指す社会システムを言います。
- ▶ ASCN設立の背景には、ASEAN諸国の急激な都市化があります。2030年までにASEAN都市圏の人口は9,000万人増加すると予想されており、すでに著しい経済成長にインフラ整備が追い付かず、交通渋滞の深刻化や環境汚染等の課題を抱えています。これらの課題を解決するために、各都市で協力してスマートシティ開発を促進し、域外からの投資を呼び込み、新たなビジネス機会を創出することを目指しています。
- ▶ 各国のスマートシティ開発の取り組みはすでに始まっています。例えばインドネシアのジャカルタでは、ジャカルタ州政府の情報通信局が誰でも利用できる「Jakarta Smart City」というポータルサイトを運営しています。交通情報・ルート検索や食品市場価格データ等のアプリが接続しており、州政府と利用者が相互に情報を提供・利用できるデータプラットフォームとして機能しています。ASCNではこの様な各国の事例を共有し、今後のスマートシティ開発に活かしていく予定です。

インフラを整備し、都市開発と環境配慮の両立を目指す

- ▶ 都市開発を進める上での課題の一つに、都市機能を支える電力供給の確保があります。ASEAN諸国では、電力供給のためのインフラ整備を急いでいますが、石炭火力発電による環境汚染や急激な都市化で高まる電力需要をまかなえる供給量を十分に確保できない、といった問題があります。こうした現状を受け、スマートグリッド（次世代送電網）・インフラを活用する動きが広がっています。
- ▶ スマートグリッドとは、IT技術や新しい発電方法を組み合わせ、電力の流れを供給側・消費側の両方で制御することで効率よく電力供給を行う仕組みです。このスマートグリッド・インフラが整えば、電力会社や利用者がリアルタイムで電力使用量をモニタリングでき、最適な電力供給によってエネルギーを節約することができます。また、家庭やオフィス等にもクリーンな自家発電の仕組みを導入し、地域に必要な電力を消費地で生産するシステムも備えています。
- ▶ 東南アジア諸国における2016年から2026年にかけてのスマートグリッド・インフラ構築に向けた投資は、246億米ドルに上るという予想もあり、IT技術を活用した環境配慮型のインフラ投資が注目されていることがわかります。高成長を続けるASEAN諸国において、ASCNを通じて共有されたIT技術・環境技術を用いた都市開発を行い、持続可能な発展を遂げていくことが期待されています。今後は2025年までの暫定的なアクションプランが策定され、シンガポールで7月に開催される第1回ASCN年次会合で承認される予定です。

【ASEANスマートシティネットワーク参加予定都市（26都市）】

参加国	実験都市	参加国	実験都市
インドネシア	ジャカルタ、バニュワンギ、マカッサル	ブルネイ	バンドル・スリ・ブガワン
カンボジア	プノンペン、バタンバン、シェムリアップ	ベトナム	ホーチミン、ハノイ、ダナン
シンガポール	シンガポール	マレーシア	クアラルンプール、ジョホールバル、クチン、コタキナバル
タイ	バンコク、チョンブリー、ブーケット	ミャンマー	ヤンゴン、ネピドー、マンダレー
フィリピン	マニラ、セブ、ダバオ	ラオス	ビエンチャン、ルアンパバーン

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。*2018年、アジア・インベスター・アセット・マネジメント・アワード。過去の運用成果は、将来の運用成果や市場環境の変動等を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会



アジア・ファンド・ハウス・オブ・ザ・イヤー受賞*
イーストスプリング、アジアにおける最優秀運用会社に！3度目の受賞

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。